

5 豊かな言葉を身に付けよう

*豊かな感性と表現 *社会生活との関わり
*言葉による伝え合い *道徳性・規範意識の芽生え

<かき氷屋さん> 3歳児(Ⅱ期)

ねらい ◎身近な生活の中で体験したことをまねて楽しむ

○友だちと共通のイメージをもち、簡単なやりとりをしながらごっこ遊びを楽しむ

★地域とのつながりをいかし、幼児たちが実際に体験できるようにする。

△祭りに興味をもち、様々な環境に気付けるよう声をかける。

○散歩に出掛け、地域の祭りの様子に興味をもつ。



気付く



おまつり行ったよ

太鼓たたいた



かき氷食べた

おいそう
でしょ

○かき氷をつくることを楽しむ。
▲教師や友だちに食べてほしいと思う。

△イメージを共有できるように皆で話を
する機会をもつ。

△幼児の言葉を他の幼児にわかるように整
理して伝える。

表現する

▲素材に触れることでよりイメージを膨ら
ませる。

▲自分が体験したことを、ごっこ遊びの
中で表現しようとしている。

△イメージが膨らむように絵本や写真
などを見ながら話をする。



甘いよ

いらっしゃいませ

100円です

冷たいね



ちょっとお待
ちください

いくらですか

いちご味ください

▲お店屋さんのやりとりの言葉を知る。

▲友だちとの対話が楽しいと思いはじめている。

▲繰り返し遊ぶことを楽しんでいる。

意欲

★幼児たちの体験したことから、ごっこ遊
びが展開できるように素材(綿やチェ
ーンリングなど)やエプロンなどを用意す
る。

遊びの中の豊かな学び

- ・体験したことを自分たちの生活に取り入れ遊びの場をつくりあげる
- ・友だちと共通のイメージをもち、言葉でのやりとりをしながら遊びを進める
- ・役割を分担しながら遊びを進める
- ・遊びに必要な物や材料を見つけようとする

評価の観点

- ・幼児は体験したことを表現できているか
- ・祭りのイメージを幼児は十分に楽しむことができているか
- ・友だちや教師と言葉のやりとりを楽しんでいるか